

## 平成17年5月度 販売電力量

### 1. 概況

5月度の販売電力量は60億54百万kWhとなり、前年に対し+0.8%と4か月連続で前年を上回った。

#### (1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

検針期間が前年より短かったことによる電灯や低圧電力などの減少はあるものの、業務用電力の需要数の増加などから、前年に対し+0.8%と4か月連続で前年を上回った。

検針修正後前年比 (%)			平均気温(九州7県平均) ( )								
	当月	累計	4月				5月				
			上月	中旬	下旬	平均	上月	中旬	下旬	平均	
電灯	102.0	104.5									
電力	101.7	102.8									
電灯電力計	101.8	103.4									
一般需要	102.3	104.1									
			実績	16.0	15.4	18.4	16.6	19.3	19.9	20.5	19.9
			前年差	2.2	2.9	1.2	0.2	0.3	0.2	1.9	0.7
			平年差	2.4	0.2	1.5	1.4	1.1	0.7	0.1	0.6

#### (2) 大口電力需要

鉄鋼や食料品などは減少したものの、窯業土石や非鉄金属などが増加したことから、前年に対し+0.7%と17か月連続で前年を上回った。

### 2. 用途別実績

		実績	前年比	年度累計 前年比	
特定規模 需要以外 の需要	電灯	2,007,252	99.6	103.9	
	電力	低圧	343,324	98.6	102.2
		その他	90,965	94.8	100.8
	電灯・電力計		2,441,541	99.3	103.5
特定規模 需要	業務用	1,318,437	104.2	105.7	
	産業用	2,293,774	100.5	101.2	
	特定規模需要計	3,612,211	101.8	102.9	
販売電力量合計		6,053,752	100.8	103.1	
(注): 産業用電力には、その他電力を含む					
(再掲)	一般需要	4,275,758	100.8	103.8	
	大口電力	1,777,994	100.7	101.6	

### 3. 大口電力産業別実績

		実績	前年比	年度累計 前年比
機 械	電気	456,455	100.8	101.5
	輸送用	76,966	97.5	98.3
	その他	34,634	108.6	107.8
	計	568,055	100.8	101.4
鉄鋼		239,074	95.8	97.9
化学		165,578	102.4	106.4
窯業土石		94,071	111.5	111.4
(セメント)		64,428	118.9	117.2
食料品		129,188	97.6	98.8
パルプ・紙		40,539	96.6	88.5
非鉄金属		81,811	106.8	108.4
繊維		11,413	79.8	87.0
その他		448,265	101.6	101.8
合計		1,777,994	100.7	101.6

(参考) 電力各社別販売電力量(17年5月)

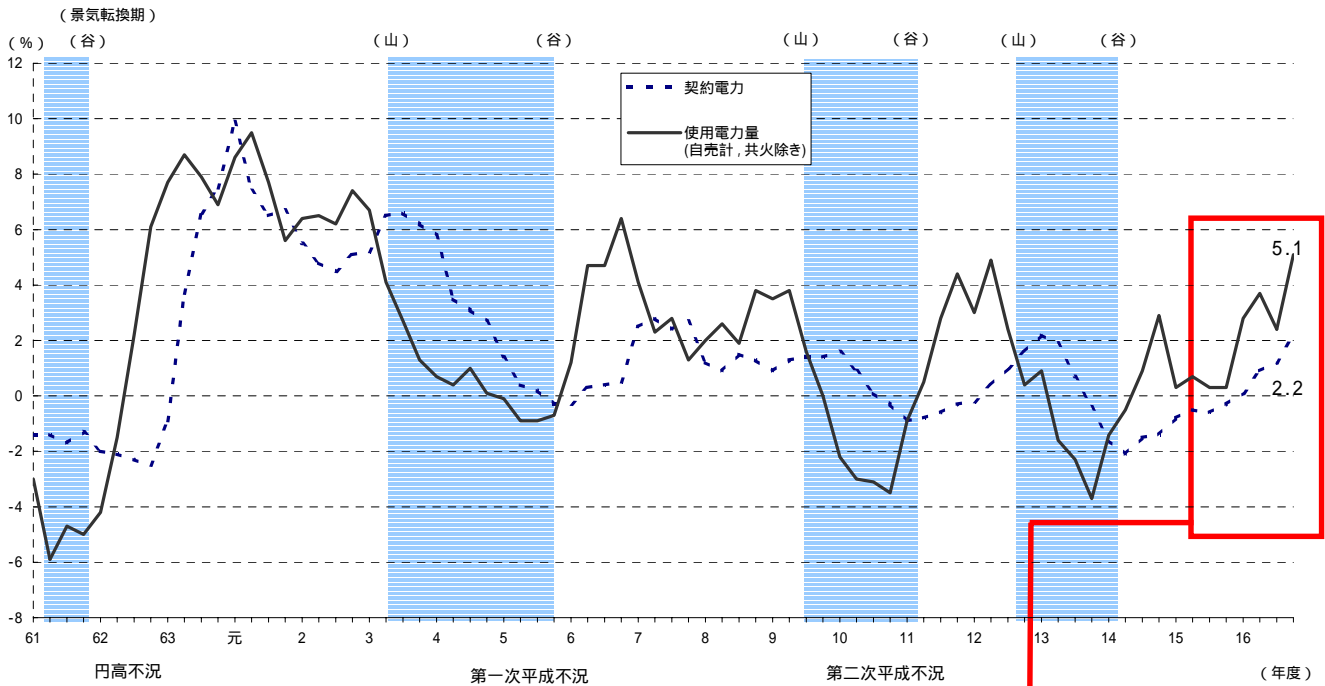
		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計	
実 績	特定規模 需要以外 の需要	電灯	978	1,872	6,729	2,513	563	3,382	1,274	661	2,007	19,979
		電力	142	345	945	545	123	479	210	155	435	3,379
		電灯・電力計	1,120	2,217	7,674	3,058	686	3,861	1,484	816	2,442	23,358
	特定規模 需要	業務用	623	1,130	5,349	1,576	345	2,480	737	438	1,318	13,996
		産業用	683	2,708	8,143	4,901	1,066	4,425	2,168	838	2,294	27,226
		特定規模需要計	1,306	3,838	13,492	6,477	1,411	6,905	2,905	1,276	3,612	41,222
販売電力量合計		2,426	6,055	21,166	9,535	2,097	10,766	4,389	2,092	6,054	64,580	
(再掲) 大口電力		442	2,022	6,633	3,879	832	3,562	1,798	646	1,778	21,592	
前 年 比	特定規模 需要以外 の需要	電灯	102.7	104.8	102.0	101.7	104.5	102.7	105.3	100.6	99.6	102.4
		電力	100.5	103.2	98.3	97.1	100.4	90.5	98.3	97.0	98.6	97.4
		電灯・電力計	102.4	104.6	101.6	100.8	103.7	101.0	104.2	99.9	99.3	101.6
	特定規模 需要	業務用	104.4	102.7	98.7	103.4	100.2	99.8	104.3	100.5	104.2	100.8
		産業用	101.7	100.7	97.9	100.8	104.6	97.9	97.4	102.5	100.5	99.4
		特定規模需要計	102.9	101.3	98.2	101.4	103.5	98.6	99.1	101.8	101.8	99.9
販売電力量合計		102.7	102.5	99.4	101.2	103.6	99.4	100.8	101.1	100.8	100.5	
(再掲) 大口電力		101.6	100.9	97.6	101.1	105.3	97.4	96.8	104.0	100.7	99.2	

(注) 1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。当社以外は速報値。 2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

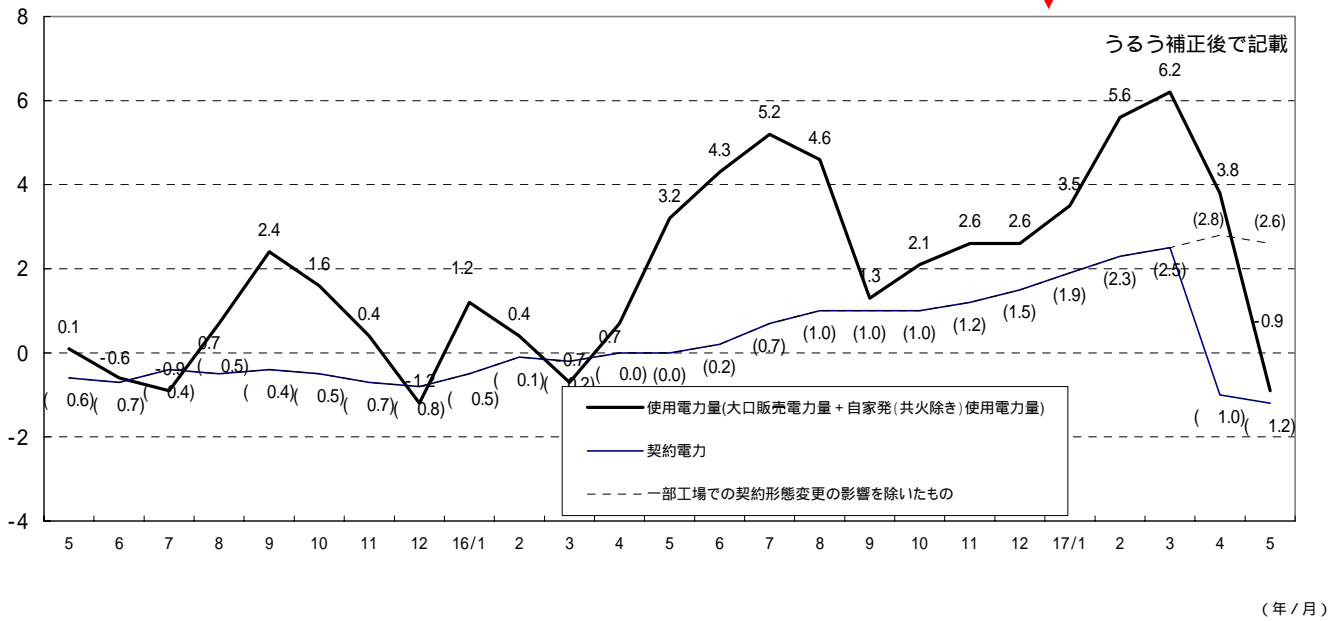
以上

## 大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

### （１）四半期別動向



### （２）月別動向



#### 大口カーブは景気判断の物差しのひとつ

「使用電力量」は、契約電力500kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

17年5月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、14か月連続で上回った。

